



株式会社ピービー © http://www.pb-jp.com  
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29

商品お問い合わせ先：大阪オフィス support@pb-jp.com  
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3  
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807

CMMシリーズ

# CMM-VWL3



構成部品・主な仕様	..... P1	純正システムの脱着要領	..... P4
安全に正しくお使いいただくために 接続するまえの準備	..... P2	車両コードとの接続	..... P5/P6
取付車種別の初期設定	..... P3	ご使用方法について	..... P7
		保証書	..... P8

## 取付・取扱説明書

販売店様へ  
取り付け作業が完了しましたら、この取付・取扱説明書  
をお客様へお渡しください。

CMMシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取り付けの前に、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け作業を行ってください。指定以外の取り付け方や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となることがあります。

この取付・取扱説明書では別売りオプションキットの接続についても説明しています。詳しくは別売りオプションキットの取付・取扱説明書をご覧ください。

この取付・取扱説明書を読み終わったあとは、必ず保管してください。

この製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。必ずお買い上げの販売店で取り付けください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。この指示を守らなかった事による車両の故障または破損等につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

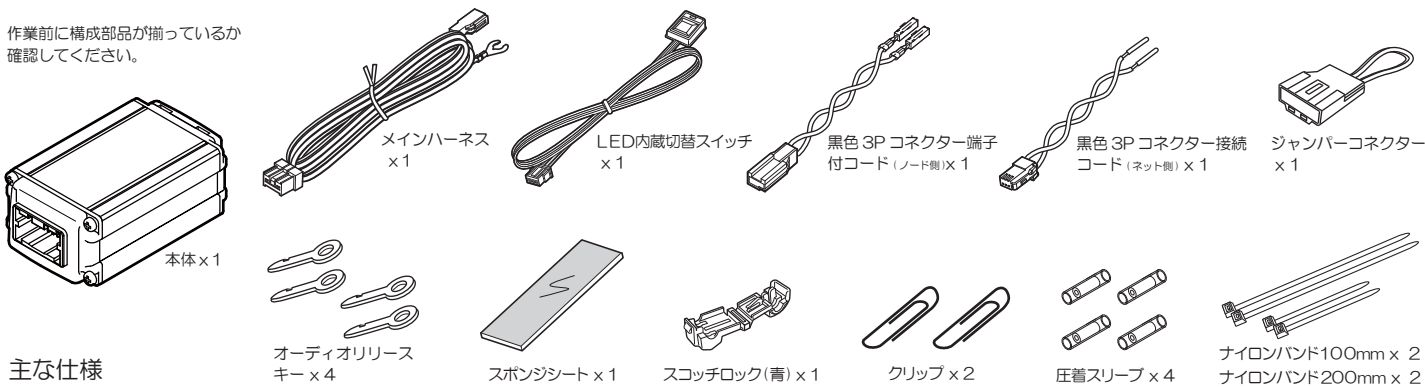
この製品は、運転者以外の同乗者がテレビを視聴するために開発された製品です。運転者が走行中にAVモニターを注視することは、事故、ケガの原因となると共に、道路交通法で禁止されています。同乗者がいないときは安全のため、車両情報やナビゲーションの映像などに切り替えてご使用ください。

この製品は、安全に十分配慮して設計されています。しかし電気製品はすべて、まちがった使い方をすると事故や火災等の原因になります。動作がおかしかったり、異常、故障と思われる場合はすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。

この説明書の指示を守らなかった事による事故、法律の違反、車両の故障または破損、製品の不具合等の賠償につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

### キット構成部品をご確認ください

作業前に構成部品が揃っているか  
確認してください。



#### 【入力】

・電源電圧 ..... DC12V  
マイナースアース

#### 【その他】

・動作時消費電流 ..... 約 65mA  
 ・待機時消費電流 ..... 約 0.15mA  
 ・交換用ヒューズ容量 ..... 1A (φ6x30管ヒューズ)

※ 本取付説明書に記載の内容は、調査時のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報に変更になる場合がありますのでご注意ください。

※ 本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。

※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

# 安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

- 本品はDC12V仕様以外の車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用すると、制動不能や、発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をははずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- 機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 取り付けした機器の音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線をしてない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

## 注意

- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できず外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

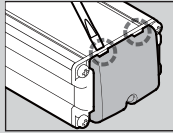
# 取付車種別の初期設定

## 🔔 アドバイス

●取り付ける車種に合わせて必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わずに接続すると本製品が正しく機能しません。工場出荷時はVWL33に設定してあります。

### 1 CMM 本体のカバーを取り外す

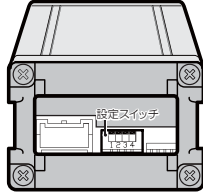
破線部分に細いマイナスドライバーを差し込み、カバーを手前に引き、取り外してください。



#### 🔔 アドバイス

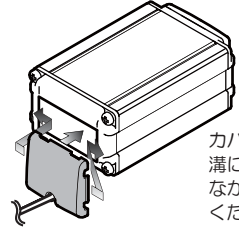
設定用カバーを取り外すとき、設定用カバーやケース、内部基板に無理な力を掛けたり傷付けられないようご注意ください。

### 2 初期設定を行う



取り付ける車種に合わせて表を選び、取付車種別の設定スイッチ（No.1～No.4）を表示図のように切り替えてください。

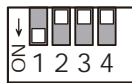
### 3 作業後はカバーをもとに戻す



カバー下側中央部の溝にコードをあわせながらもとに戻してください。

## VWL31

スイッチ設定



グレード	型式	適応年式(西暦)	備考
トゥアレグ(MC前)	GH+7L***	'03/09～'06	

フォルクスワーゲン正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーオプションのマルチメディアステーション(MMS)装着車(一部取付できないグレードがあります。)

#### 🔔 アドバイス

- 純正システムの脱着については、この取付説明書の4ページをご覧ください。
- 車両コードとの接続については、この取付説明書の5～6ページをご覧ください。

## VWL32

スイッチ設定



グレード	型式	適応年式(西暦)	備考
ゴルフV	GH+1K***	'04/06～'06	
A3	GH+8P***	'03/09～'06	

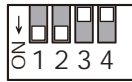
フォルクスワーゲン・アウディ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーオプションのマルチメディアステーション(MMS)装着車(一部取付できないグレードがあります。)

#### 🔔 アドバイス

- 純正システムの脱着については、この取付説明書の4ページをご覧ください。
- 車両コードとの接続については、この取付説明書の5～6ページをご覧ください。

## VWL33

スイッチ設定



グレード	型式	適応年式(西暦)	備考
ゴルフV	ABA-1K***	'08～'09/04	
ゴルフVI	ABA-1K***	'09/04～	
ゴルフヴァリアント	ABA-1K***	'08～	
ゴルフトゥーラン	ABA-1T***	'08～	
ジェッタ	ABA-1K***	'08～'10	
イオス	ABA-1F***	'08～'10	
パサート	ABA-3C***	'08～'09	
パサートヴァリアント	ABA-3C***	'08～'10	
パサートCC	ABA-3C***	'08/11～	
トゥアレグ(MC後)	ABA-7L***	'08～	
ティグアン	ABA-5NCAW	'08/09～	
シロcco	ABA-13CA*	'09/05～	

フォルクスワーゲン正規輸入車の日本仕様で、メーカーラインのHDDナビゲーション(RNS510)装着車(一部取付できないグレードがあります。)

#### 🔔 アドバイス

- 純正システムの脱着については、この取付説明書の4ページをご覧ください。
- 車両コードとの接続については、この取付説明書の5～6ページをご覧ください。

# 取付・接続のしかた その1

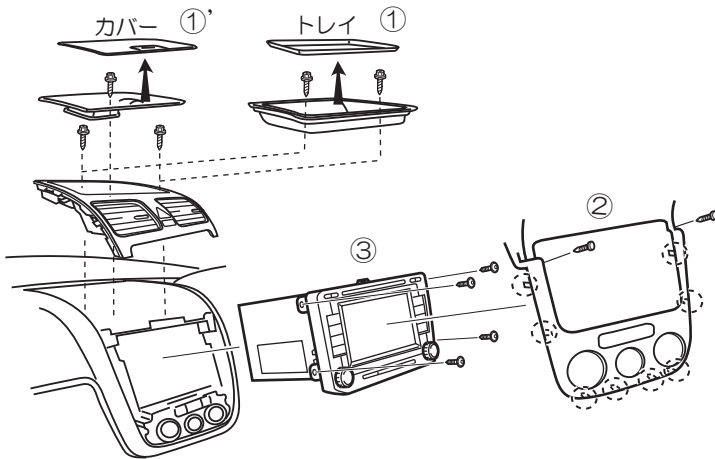
## ⚠ 注意

- 取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付けの機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。  
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- 車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

### 純正システムの脱着要領

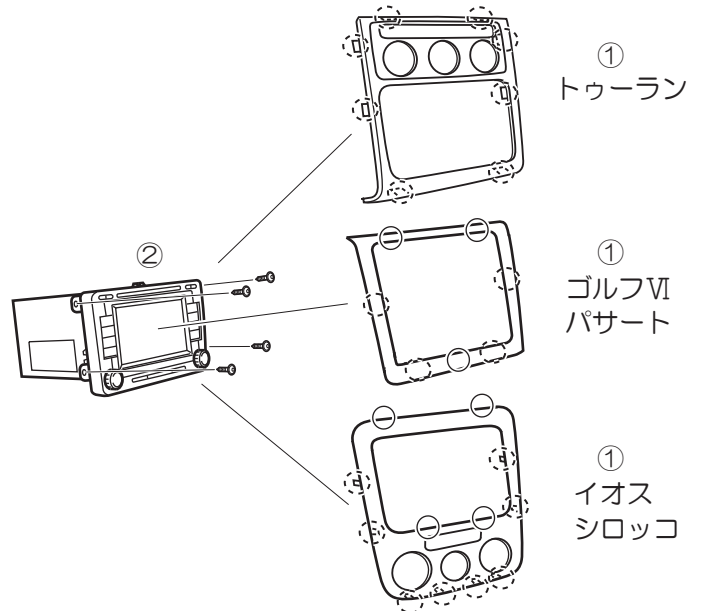
#### — ゴルフ V/ ジェッタ —

- ① ダッシュボードに小物入れが装着されている場合はトレイ、ビス2本、小物入れを外し、吹き出し付クラスターを取り外します。
- ①' 送風用ベンチレーターが装着されている場合は、カバー、ビス1本、送風用ベンチレーター、※ビス2本（ゴルフVのみ装着）、吹き出し付クラスターを取り外します。
- ② センターパネルを固定しているビス2本を取り外し、センターパネルを取り外します。（勘合クリップ ㊦ 印8ヶ所）
- ③ 純正システムを固定しているビス4本を取り外し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外してから純正システムを取り外します。



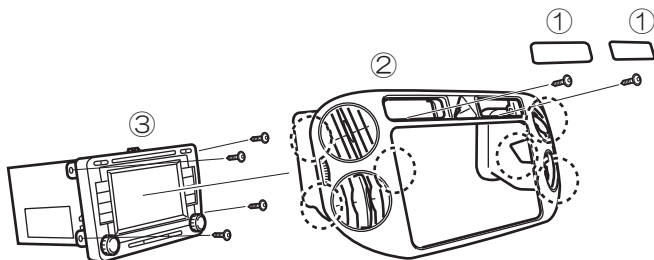
#### — トゥーラン/ ゴルフ VI/ パサート/ イオス/ シロッコ —

- ① センターパネルを取り外します。
  - ・トゥーラン 勘合クリップ ㊦ 印8ヶ所
  - ・ゴルフVI 勘合クリップ ㊦+㊧ 印7ヶ所
  - ・パサート 勘合クリップ ㊦ 印4ヶ所
  - ・イオス/シロッコ 勘合クリップ ㊦ 印8ヶ所  
ツメ ㊨ 印4ヶ所
- ② 純正システムを固定しているビス4本を取り外し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外してから純正システムを取り外します。



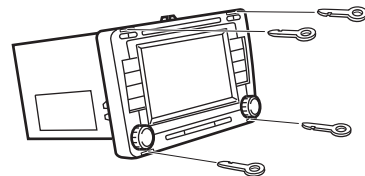
#### — ティグアン —

- ① ハザードスイッチ左右のカバーを取り外します。
- ② ビス2本を取り外し、センターパネルを取り外します。（勘合クリップ ㊦ 印6ヶ所）
- ③ 純正システムを固定しているビス4本を取り外し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外してから純正システムを取り外します。



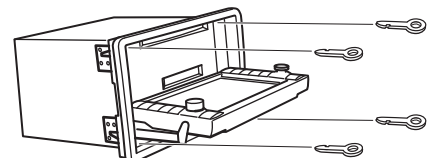
#### — トゥアレグ (MC 後) —

- ① 本製品に同梱のオーディオリリースキーを使用して4ヶ所のロックを解除し、純正システムを手前に引き抜き、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外してから純正システムを取り外します。



#### — トゥアレグ (MC 前)/A3 —

- ① オープンボタンを押し、純正ディスプレイをオープンさせる。本製品に同梱のオーディオリリースキーを使用して4ヶ所のロックを解除し、純正システムを手前に引き抜き、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外してから純正システムを取り外します。

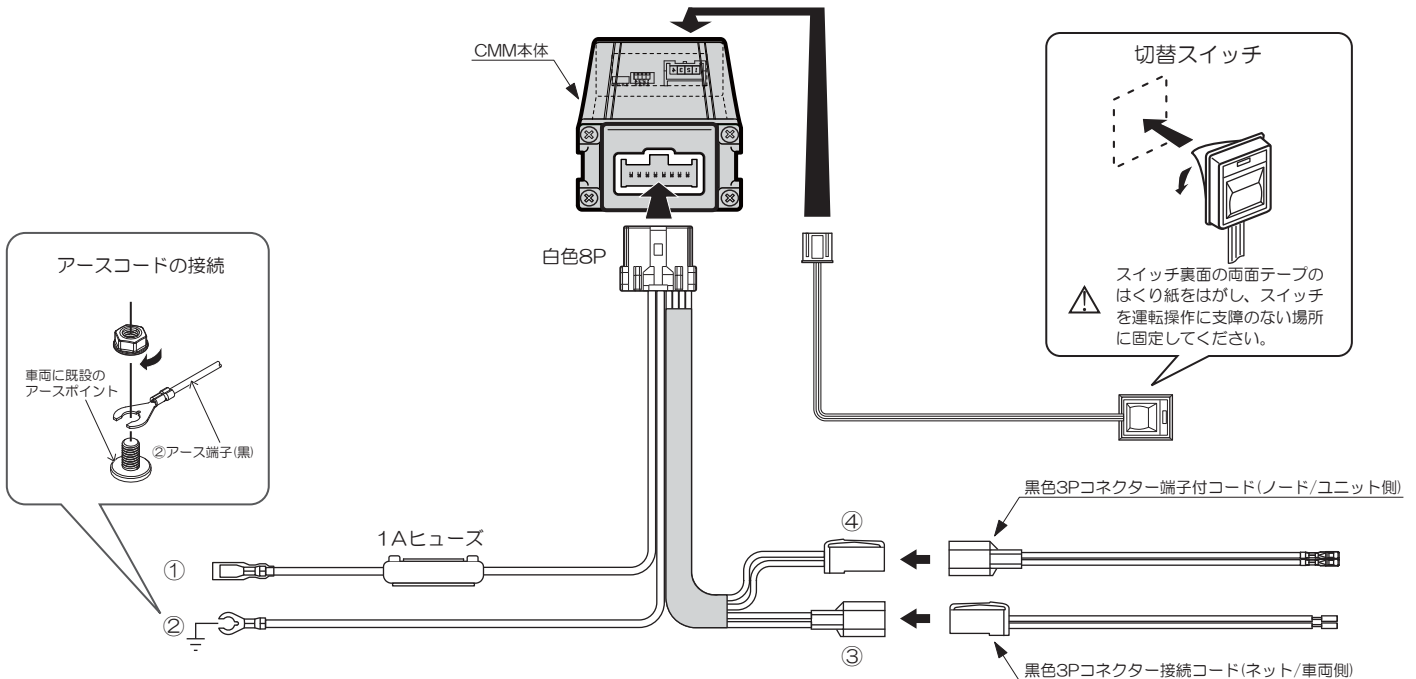


# 取付・接続のしかた その2

## ⚠ 注意

- 接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。
- CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

## 接続概要図



- ① バッテリー電源コード(黄)  
純正システムに接続されている黒色40Pコネクターの[15]バッテリー電源コード(赤/緑)または(赤/茶) [マルチメディアステーション(MMS)装着車は黒色8Pコネクターの[7]バッテリー電源コード(赤/白)]に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。  
[詳しくは下図“取付概要図と電源コードの接続”をご覧ください]
- ② アース端子(黒)  
車両に既設のアースポイントへ接続します。[上図参照]
- ③ 黒色3Pコネクター(ネット/車両側)  
付属の黒色3Pコネクター接続コード(ネット/車両側)と接続し、純正システム黒色40Pコネクター内の既設配線に接続します。  
[詳しくはこの取付説明書 6ページをご覧ください]
- ④ 黒色3Pコネクター(ノード/ユニット側)  
付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)と接続し、純正システムの黒色40Pコネクター内に差し込みます。  
[詳しくはこの取付説明書 6ページをご覧ください]
- ⑤ 切替スイッチ  
切替スイッチのコネクターをCMM本体に接続します。

## 取付概要図と電源コードの接続

**バッテリー電源コードの接続**

純正HDDナビ(FNS510)装着車

15 赤/緑 (赤/茶)

黒色40Pコネクター

マルチメディアステーション(MMS)装着車

7 赤/白

黒色8Pコネクター

※サーキットテスターでバッテリー信号を確認してから接続してください。

**スコッチロックの使い方**

プライヤーなどでツメがロックするまで押さえる

車両のコード

端子のスリーブが外れないように粘着テープ等で固定してください。

# 取付・接続のしかた その2

## ⚠ 注意

- 接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。
- CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

### 車両コードとの接続 [VW-L31/32]

- ① 図1を参照し、純正システム裏の黒色20Pコネクタを【A】のツメを押しながら取り外します。
- ② 図2を参照し、黒色20Pコネクタの⑧(橙/紫)コードと⑨(橙/茶)コードを切断します。
- ③ 本製品に付属の黒色3Pコネクタ端子付コード(ノード/ユニット側)のソケットピンを先端で切断します。
- ④ 切断したコードの先端を7~8mmストリップし、付属の黒色3Pコネクタのコード4本に圧着スリーブを使用して接続します。

#### [黒色20Pコネクタ側]

- ・(橙/紫)コードは付属の黒色3Pコネクタ端子付コード(ノード/ユニット側)(黄/紫)と接続。
- ・(橙/茶)コードは付属の黒色3Pコネクタ端子付コード(ノード/ユニット側)(黄/茶)と接続。

#### [車両ハーネス側]

- ・(橙/紫)コードは付属の黒色3Pコネクタ接続コード(黄/紫)(ネット/車両側)と接続。
  - ・(橙/茶)コードは付属の黒色3Pコネクタ接続コード(黄/茶)(ネット/車両側)と接続。
- ※ 圧着スリーブは端子圧着用ベンチを使用して、接続不良が無いよう圧着してください。

- ⑤ 各コネクタとメインハーネスからの黒色3Pコネクタを接続します。

図1

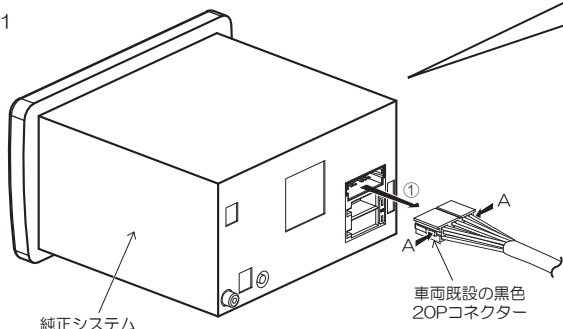
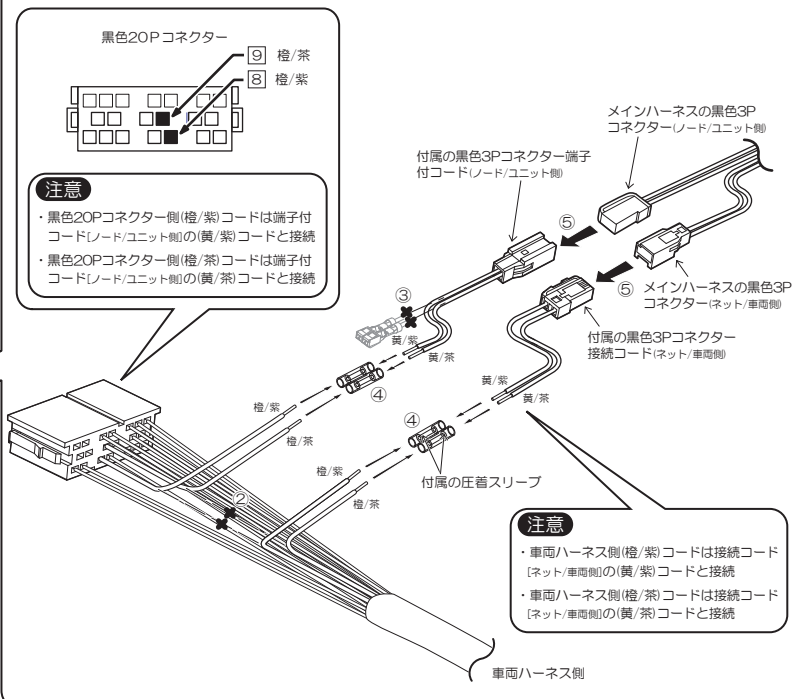


図2



### 車両コードとの接続 [VW-L33]

- ① 図1を参照し、純正システムの黒色40Pコネクタからホルダーを外し、⑨番の橙/紫コードと⑩番の橙/茶コードをコネクタから抜きます。
- ② 手順①で抜いたコードの入っていた同じ配線色の位置[図2参照]に付属の黒色3Pコネクタ端子付コード(ノード/ユニット側)2本を差し込みます。入れ替えが終わったらホルダーを元通り差し込みます。

- ・橙/紫コードが入っていた位置には黄/紫コードを差し込みます。
- ・橙/茶コードが入っていた位置には黄/茶コードを差し込みます。

- ③ 手順①で抜いたコードのソケットピンを先端で切断し、各端末の被覆を7~8mmストリップします。

- ④ 切断した車両ハーネス側のコードと、付属の黒色3Pコネクタ接続コード(ネット/車両側)のストリップしているコード2本を付属の圧着スリーブで接続します。

- ※ 橙/紫コードは黄/紫コードと、橙/茶コードは黄/茶コードと接続します。
- ※ 圧着スリーブは端子圧着用ベンチを使用して、接続不良が無いよう圧着してください。

- ⑤ 各コネクタとメインハーネスからの黒色3Pコネクタを接続します。

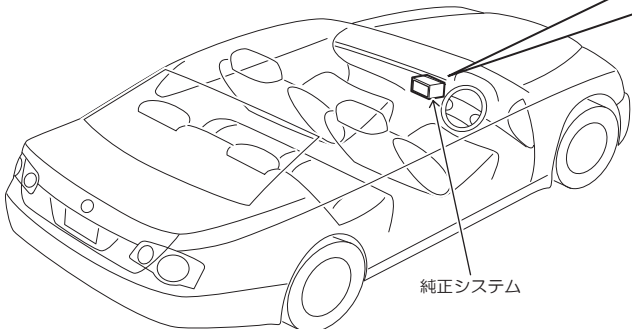


図1 (コネクタ側)

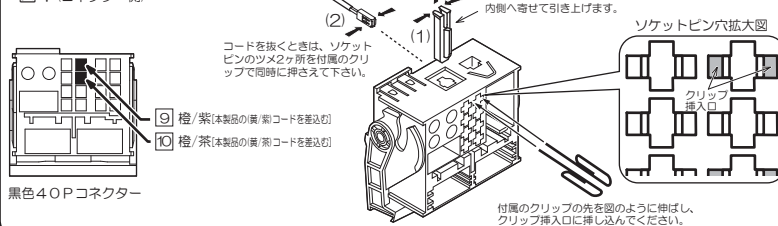
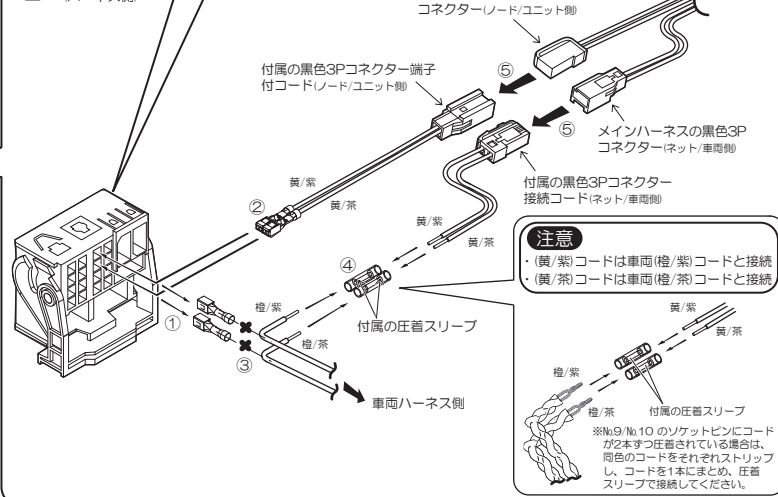


図2 (ハーネス側)



# ご使用について

## バッテリー端子取外し時について※

1008

バッテリー端子を外した際などに、盗難防止のためのコード入力画面が表示される場合があります。

その際には正規ディーラーサービス工場、または、カスタマーセンターへお問い合わせください。

4桁のコード(PINコード)を2回間違えて入力すると、システムが約1時間ロックされますのでご注意ください。

※ フォルクスワーゲン・アウディ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーオプションのマルチメディアステーション(MMS)装着車は除く。

## ご使用方法

- ① 乗車時には、自動でモード切替スイッチのランプが赤色に点灯し、システムが起動します。  
この状態のときは“ノーマルモード”で、純正システムと同じ(映像制限が解除されない)動作をします。
- ② モード切替スイッチのボタンを押すとランプが緑色の点灯になります。  
この状態のときは“TVモード”で、映像制限が解除されます。  
走行時にTVやDVDビデオの映像を映すときは、緑色の点灯状態にしてご使用下さい。
- ③ 降車時にはしばらくすると、自動でモード切替スイッチのランプが消灯し、システムがOFFになります。

※本製品は、TVモード時に、ナビゲーション(オーディオ)システムへ車両停止信号を送信します。

このために、車速信号に感応して動作する機能(車速感応ボリューム、車速感応シート調整、カメラ切り替えなど)が一部、使用できない場合があります。

(本製品は、車速感応式パワーステアリングなどのパワートレイン系には、影響を与えません。)

## カーナビゲーション使用時のご注意

“TVモード”(緑色の点灯状態)のとき、カーナビゲーションへの車速信号が停止され、約10分後にGPS衛星のみによる測位になります。

このため、“ノーマルモード”(赤色の点灯状態)のときに比べ大幅に測位精度が劣ります。

GPS衛星の受信状態によっては、地図表示が実際の位置と一致しない場合がありますのでご注意ください。

また、モード切替スイッチの切り替え操作を行った直後は、現在地と地図表示が一致しませんが、しばらく走行すると自動的に一致します。

その際、GPS衛星の受信状態によっては、一致するまでの時間が長くなる場合があります。

## CMM 本体の動作チェックについて

付属のジャンパーコネクタ(自己診断テスター用コネクタ)は、メインハーネスにCMM本体と差し替えて装着するとオリジナル配線と同じ状態にバイパスされます。[図を参照]

本製品の取り付け時、CMM本体をメインハーネスにつなぐ前に、このジャンパーコネクタを装着してから動作チェックを行うと、配線の誤りが無い事を確認できます。また、このコネクタは、正規ディーラーにて自己診断テスターを使用するサービスを受ける際に必要になります。正規ディーラーにて自己診断テスターを使用するサービスを受ける際は必ずジャンパーコネクタを装着してください。

### 🔊 アドバイス

- 正規ディーラーにてナビゲーションのバージョンアップまたは故障修理を受ける際は、付属のジャンパーコネクタを接続してください。

